



京都府立鴨沂高等学校同窓会

奨学金制度

2018(平成30)年度 奨学生

寄稿文

「奨学金で出来たこと」

三年 D・Y

私は、いただいた奨学金を通して予備校の授業料や、参考書を買うための費用として使いました。特に参考書を買うために使えたことが、私が勉強するうえで大変役に立ったと思います。私が今、親からもらっているおこづかいだけでは、交通費や昼食代などを出すだけで精一杯の状況でした。しかし、この同窓会の奨学金をいただいたおかげで、欲しかった参考書をたくさん買うことができました。親からは、一冊の参考書をやり切って何度もくり返した方が良いと言われたこともありました。しかし、自分がこれだったらもっと勉強ができると思った、あるいは気に入った参考書で勉強することにより、苦手だったところが理解できました。また、使いやすい参考書だと、勉強の能率もより上がり、学校の定期テストはもちろんのこと、模試の点数も少しずつ上がりました。自分の目標である、第一志望の大学に受かるための勉強ができているのも、同窓会の奨学金のおかげが大きいと思います。まだまだ、目標には届いていないので、日々少しずつでも奨学金で買った参考書を使って勉強をがんばりたいと思います。私はこの一年間、いただいた奨学金のおかげで頑張ってくることができました。そこで気付いたことは、誰かに支えてもらっていることのありがたさです。何も他に余計なことを考えずに勉強に集中できるのは大変うれしいことでした。現在、私は自分自身のことだけでいっぱいですが、これからは少しでも誰かの役に立てるように私も頑張っていきたいと思っています。

「大学生活に向けて」

三年 N・T

今回は、鴨沂高校同窓会の奨学生として選んでいただき、ありがとうございました。
私は、大学への進学が決まり、現在は英検の勉強に励んでいます。

今回頂いた奨学金は、高校生活の資金の他に、大学の資金として貯金しました。私が進学する大学は兵庫県にあるので、京都市から通うということになると、学費だけではなく、交通費でも多くの費用が必要になってきます。そのために、今一時に使わず、少しずつ貯めて意味のあるお金として使っていくことができればいいなと思います。

また、私は大学に入ったら留学することも考えています。そのために、実用的な英語を身に付けたいと思い、英検準一級の受検を決めました。今の自分の力は、合格までほど遠く、自信はありませんが、免学の合間を有効活用して少しでも高い点数がとれるように頑張ります。

私が大学で専修するのは、美学芸術学課程で、主に美術や芸術、音楽といった幅広い領域を学ぶことができます。私はクラシックバレエを習っているのですが、今あるバレエの知識以外にも深く学びたいと思っています。サークル活動にも積極的に取り組み、大学でしかできないことをしたいです。

これからも努力を惜しまず、精進していきます。

この度は本当にありがとうございました。

「奨学生としての自覚」

三年 K・F

私は、高校生活のうち二年間を奨学生として過ごさせていただきました。奨学金を受け取るたびに、気を引き締め、勉学に励むことができました。志望校への公募推薦へ挑戦するチャンスが奨学金をいただいたおかげで増やすことができ、その試験への意気込みはより一層強くなりました。合格するためには何を改善し、どう伸ばしていくかを何度も考えるというこのプロセスを、受験だけではなくこれからの人生にも活かしていきます。日々の勉学を怠ることなく生活することは、今の自分のためにもなり、未来の自分への未来投資にもなります。そして自分以外の誰かのためにもなれます。高校や大学を卒業しても、“勉、強”というものは生涯続いていくものなので、私は自分のためにも人のためにも勉強することができる人になりたいと考えています。奨学生になる、という経験をさせていただけたこと、その機会をさせていただけたことが自分の中で貴重な経験の種となり、将来へと繋がると考えています。また、何事も経験しようという考え方を持つことができたのも奨学生の経験があったからだ、そう思うようになりました。

鴨沂高校で学ぶことの大切さ、楽しさを味わうことができ、またその機会も多くいただけて、今の自分があります。卒業後も勉学に積極的に励み、日々成長していきたいと思っています。

「奨学金をいただいて」

二年 M・H

同窓会の皆様方、この度は奨学金を頂き感謝いたしております。

奨学金を手にした時は、このお金をどう有効活用させて頂くか考えました。

私の夢は、高校卒業後大学に行って、英語の先生になる事です。何故英語の先生になりたいかという、中学校の頃から英語に興味があったことと、また高校の授業で英語の先生と外国の先生とが、英語で会話をされているのを聞いて、カッコいいと思い自分もその様になりたいと思ったからです。もっと英語のコミュニケーション能力を学び、英語の楽しさを教える仕事をしたいと思っています。

私は、その為に塾に行く事を望みましたが、母一人で子育てしてくれている事もあって、塾に継続して払うお金も厳しく、何処か安くで教えてもらえる所がないかと思っていたところ、母が母子家庭の子が勉強できる学習支援の場がある事を調べてくれました。そこなら、お金の負担も少なく格安で教えてもらえるという事で、そこで勉強を頑張る事にしました。そこは桂にあり、大学の学生のボランティアの方に教えてもらうものです。家からは少し遠く、バスと電車を乗り継いで約一時間弱かけて行っています。

塾とは違い、自分でやりたい勉強をし分からない所を一緒になって、考えて教えてもらっています。自分のペースで学習でき、勉強の仕方も教えて下さり、今まで一人で勉強していてもつまづいて悩んでいましたが、一緒になって考えてくれる人がいて、とても心強く前向きに勉強に取り組める様になりました。

お金を頂けたからこそ、勉強に力を入れる事ができました。大学受験まで自分のペースでコツコツと前向きに努力したいと思います。そして絶対に志望大学に合格したいと思います。

本当に有難うございました。

「奨学金をいただいて」

二年 M・S

今年度、「鴨沂高校同窓会奨学金」を受給させていただきありがとうございました。僕が進路について、しっかりと考え始めたのが二年生の春からでした。それまでは標準クラスに在籍しており、受験なんてまだまだ先とあまり進路について深く考えてはいなかったのですが、二年生になり、そろそろ本格的に進路を考えないといけないと思いました。先生方の話や、友達との会話でも進路の話が増えてきたからです。そんな時に奨学金のお話をいただき、行きたい大学や学部についてしっかりと向き合うひとつのスイッチが入りました。

僕は情報学系統に進みたいと思ったので、国数英の基礎固めをしようと考えました。

その為、この制度でいただいた奨学金は、参考書や問題集の購入に使用させていただきました。残金については、模擬試験や外部検定の受験に使わせていただきました。そのおかげで、受験勉強をおきなくスタートすることができ、大変ありがたく思っています。

おかげで、一年次より評定平均も偏差値も上げることができ、うれしく思っています。

来年度は、自らの進路に向かって、更に勉に励む一年となります。同窓会の皆様への感謝を忘れずに、残り少ない高校生活ですが、しっかりと勉学に励み、志望校合格を目標にがんばります。

「奨学金をいただいて」

二年 H・M

今回私は頂戴した奨学金を常の定期代として使わせていただきました。無償でいただくことができ大変助かりました。本当にありがとうございました。

私は軽音部に所属しており、こちらの活動に学校生活の中で力を入れております。最近では部員が多く中々練習時間を取ることが難しいですが少ない時間の中でバンドメンバーと協力しハロウィンや文化祭に行われるライブに向けて日々練習しております。学校内での練習時間が中々取れないことでメンバーと外で集まって活動する機会も増え普通の活動をするよりもメンバーとの仲を深めることが出来たのでむしろよかったのかもしれません。

現在は早速最後の文化祭ライブに向けて、練習を始めています。生徒の前で演奏する最後の場なので今まで以上に気合いを入れて練習しています。それと同時に受験勉強にも並行して頑張っています。私は志望先が美術大学のため勉強に重点を置いていませんが週四回を目標にクロッキーと呼ばれる短い時間で静物の形をとるものや週一回デッサンを行っています。デッサンは対象の数にもよりますが大体一つ描き上げるために三から四時間必要になり集中力と多くの時間が必要となります。その他少しではありますが国語、英語なども必要となるため九月まで続く部活動との両立が難しくなっていくと思いますが一度自分が決めたことを最後まで全力で精一杯頑張りたいと思います。